

特定非営利活動法人スサノオの風

平成28年度活動報告

① はじめに

平成28年度は、役員任期満了による改選を実施し、平成16年から長年にわたり法人の発展にご尽力された渡部良治氏に代わり石橋正伸氏が3代目の理事長に就任しました。併せて、理事・監事の交代もありました。

運営的には、出雲市の行財政改革の影響は継続し、長期的展望が見いだせない中での事業展開となりました。こうした中、指定管理施設であるスサノオホール、佐田スポーツセンター、文化練習館の利用者増加に向け、様々な自主企画事業を実施しましたが、大きな結果に結びついていない現状です。また、佐田中学校校舎建替工事・グラウンド整備事業が28年12月初旬に完成し、佐田中学校校部活動での利用がなくなり、利用者数の落ち込みになっています。

人事面では、28年度は6月に社員1名を採用しました。この採用により、NPO関係の研修会への参加など積極的な姿勢が法人内に新たな風を吹き込ませることができています。なお、出雲市委託事業の総合型介護予防事業が終了したため、年度末で1名の社員が退職しました。また、国の「キャリアアップ助成事業」を活用し、3名の嘱託社員を正社員としました。これに併せて、60歳以上の嘱託社員も正社員としました。

財政的には、指定管理料での人件費削減、障がい者サービス報酬の減などにより、非常に厳しい運営となり、最終的に約75万円の黒字決算となりましたが、ここ数年では最小の額となりました。

新しい発想が法人の中に芽生え、佐田を元気にするために、どう事業展開していくか、前を向いて考えるようになってきました。

② 基幹会議

1) 平成28年度総会

- 開催日 平成28年7月8日（金）午後7時から
- 開催場所 スサノオホール 視聴覚室
- 出席者 79名（うち委任状提出者 59名）会員総数 94名
- 提出議案
 - ・平成27年度事業報告、平成27年度収支決算の承認について
 - ・平成28年度事業計画（案）、平成28年度活動予算（案）について
 - ・役員を選任について
 - ・平成28年度役員報酬額について

2) 理事会

【第1回理事会】

- 開催日 平成28年7月7日(木)午後6時30分から
- 開催場所 スサノオホール 会議室
- 出席者 9名 理事総数 9名
- 提出議案 ・平成28年度総会提出議案について
・社員の夏季手当の支給について

【第2回理事会】

- 開催日 平成28年7月8日(金)午後7時45分から
- 開催場所 スサノオホール 視聴覚室
- 出席者 9名 理事総数 9名
- 提出議案 ・理事長の選任について

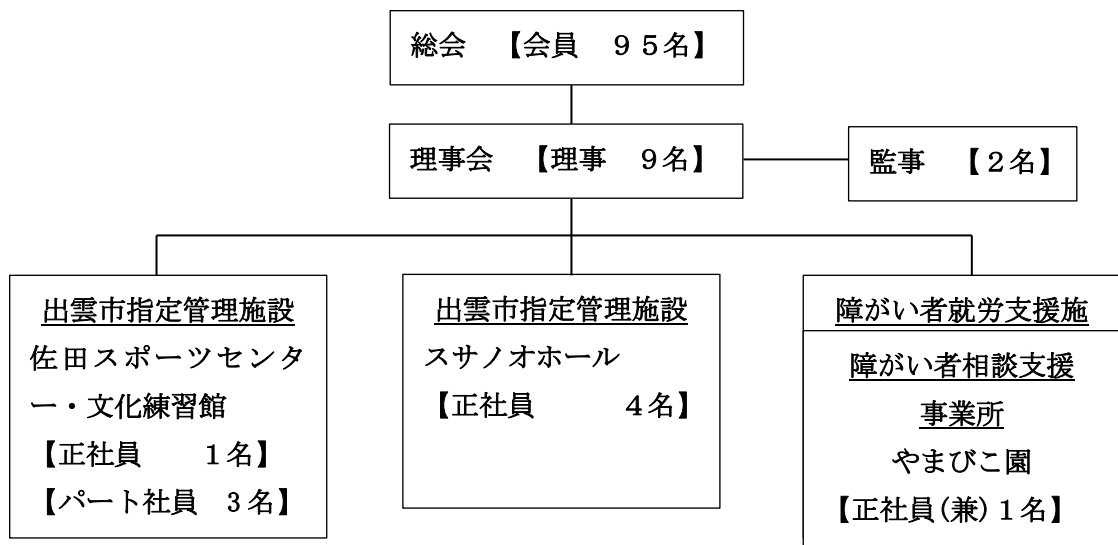
【第3回理事会】

- 開催日 平成28年9月15日(木)午後6時30分から
- 開催場所 スサノオホール 会議室
- 出席者 7名 理事総数 9名
- 提出議案 ・就業規則の改正について

【第4回理事会】

- 開催日 平成29年2月17日(水)午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 会議室
- 出席者 7名 理事総数 9名
- 提出議案 ・社員給与規則の一部を改正する規則について
・ディオッサ出雲FCサポーター団体会員の加入について
・平成29年度事業計画・予算案について
・平成27年度末手当の支給について

③ 組織体制(平成29年3月31日現在)



★平成28年度中の社員の推移

・平成28年4月1日現在社員数	9名
・平成28年度中退職社員数	2名
・平成28年度中採用社員数	1名
・平成28年度末社員数	8名

④ 各部門の事業概要

【スサノオホール】

スサノオホールの利用は、平成27年10月からの使用料の大幅な値上げにより減少をしています。施設設備では、空調機器の故障等経年による修繕箇所が多発傾向にありました。管理者としても出雲市に対して修繕を強く要望していますが、財政事情から着手されていないのが現状です。

スサノオホールの自主事業として「スギテツコンサート」「ロケットくれよんコンサート」を実施しました。また、展示室では「神楽」「むらくも座」の写真、ポスター展示を行い、来館者の増加を図りました。しかし、全体的に地元佐田からの来場者が少なく、今後、施設継続の面で大きな課題となってきました。

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
平成28年度	3,850	75	875,183
平成27年度	5,605	116	716,992
対前年比	△1,755	△41	158,191

【佐田スポーツセンター・文化練習館】

佐田スポーツセンターの利用は、佐田中学校の部活動利用が平成28年末で終了したため、減少傾向となりました。特に、平日の昼間利用は皆無で課題となっています。反面、夜間は、フットサル、スポンジテニス等の定期利用があり、地域のスポーツ、若者の交流拠点としての役割が果たされていると考えています。特に、地元若者から「佐田スポーツセンター」の存続を望む声も強く、施設利用という具体的な行動に結びついています。

文化練習館は、須佐太鼓、むらくも座を中心に定期的に利用されました。また、営利団体の会議利用もあり、想定の使用料より6万円強の増収となりました。

なお、自主事業としてバブルサッカー体験会などを開催しました。

- 1) バブルサッカー体験会 10月2日 17名参加
- 2) スサノオの風杯バレーボール大会 10月16日 120名参加
- 3) フットサル3&3交流大会 12月18日 60名参加

★体育館・グラウンド

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
平成28年度	14,951	749	1,876,098
平成27年度	16,384	783	1,662,742
対前年比	△1,433	△34	213,356

★文化練習館

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
平成28年度	3,883	162	216,750
平成27年度	3,890	173	42,500
対前年比	△7	△11	174,250

【介護予防・健康づくり活動】

出雲市の委託を受け河南地域の総合型介護予防事業（佐田 生き活き教室、湖陵・多伎ゆうなぎ会）を2会場で週1回ずつ開催をし、参加者の皆さんから評価を得ることができました。また、佐田地域を対象にした認知症予防教室事業も引き続き受託し、28年6月から6か月間実施しました。

養護老人ホーム「長浜和光園」での運動教室への講師派遣を引き続き実施しました。

	開催回数	参加延べ人数
総合型介護予防事業	68	740
認知症予防教室	20	223
養護老人ホーム長浜和光園	38	1,006
佐田町内外ふれあいサロン	5	131
計	131	2,100

【障がい者福祉事業】

障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、若い年代の利用者の増加、軽作業量の安定化もあり順調な運営が続きました。また、（農法）橋波アグリサンシャイン、満寿ファームの協力を得、ハウレンソウ・菌床シイタケ収穫の作業を始めることができ、「農福連携」の一步を歩むことができました。

しかし、住の問題から通所を断念する利用者もあり、通所者確保が重要な課題となってきました。

障がい者相談支援事業も有資格者2名でサービス計画づくり等を実施しており、平成28年度末で11名の計画を策定し支援をしました。今後は計画数を伸ばしていく必要があります。

【その他事業の展開】

出雲市体育協会佐田支部の事務局、第2回佐田やまびこ健康マラソン大会の支援、佐田町文化協会事務局、28年度中途まで島根県太鼓連盟の事務局を引き続き実施しました。出雲市から委託を受けているレンタサイクル事業は、163台（27年度 190台）の貸出を行いました。

平成28年度 主な活動



↑ 昨年からはまった「農福連携」（やまびこ園）



29年3月 「ロケットくれよんコンサート」。楽しいステージとなりました。「しまねっこ」も大人気でした。→ ↓



28年10月 バブルサッカー体験会。佐田で初登場でした。参加者は少数でしたが、歓声が響いていました。↓

28年9月 2回目となった「スギテツコンサート」。他行事と重なり集客に課題を残したステージとなりました。→

←28年12月 「ディオッサ出雲FC」をゲストに招き、フットサル3on3を開催。若者たちの熱気が体育館を覆ってしました。



←28年10月 第2回スサノオの風杯高校女子バレーボール大会。6チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。



研修会で講師の方と社員が出会ったのがきっかけで始まった「スローエアロビック」教室。平日でも多くの参加者があります。→

